

果樹類のカメムシ類注意報発令中

千葉県内で果樹カメムシ類の**多発生**が予想されています（令和6年度病害虫発生予察注意報 第1号）。

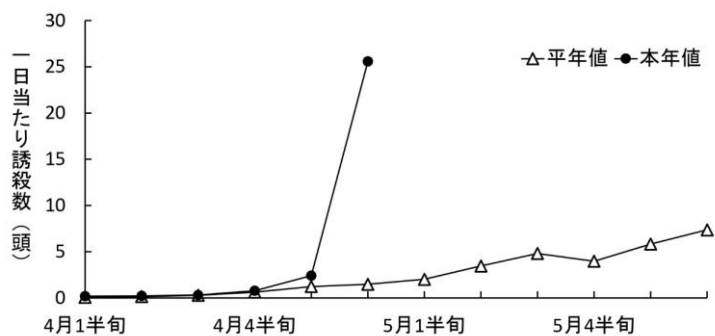


図1 県内10地点におけるチャバネアオカメムシの集合フェロモントラップ誘殺数の推移

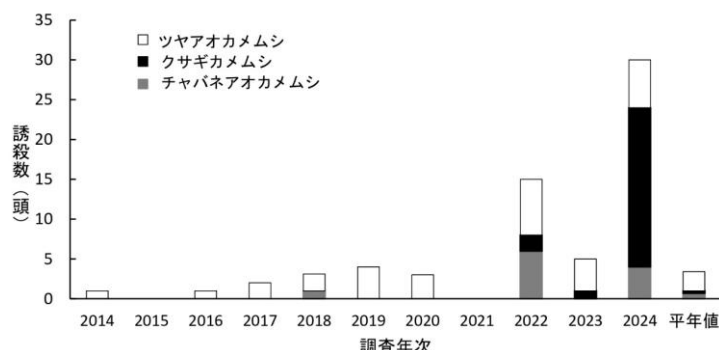


図2 予察灯における果樹カメムシ類の1か月当たりの誘殺数(館山市:4月)

※図1・図2ともに令和6年度病害虫発生予察注意報第1号より抜粋

県内10地点に設置しているチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップの4月の1日当たり誘殺数は4.4頭（平年値0.6頭）で、**過去10年間と比較して最も多く**（図1）、館山市に設置している予察灯では、4月における果樹カメムシ類の1か月当たりの誘殺数は30頭（平年値3.4頭）で、**過去10年間と比較して最も多くなっています**（図2）。

梨におけるカメムシ類に登録のある主な防除薬剤(令和6年5月30日現在)

IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期/使用回数
1A	スミチオン水和剤	800倍～1000倍	収穫14日前まで(有袋栽培) 収穫21日前まで(無袋栽培) いずれも6回以内
3A	アグロスリン水和剤	1000倍～2000倍	収穫前日まで/3回以内
	マブリック水和剤20	2000倍	収穫30日前まで/2回以内
	ロディー水和剤	1000倍	収穫前日まで/2回以内
	テルスターフロアブル	3000倍～6000倍	収穫前日まで/2回以内
4A	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍～4000倍	収穫前日まで/3回以内
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで/3回以内

注：農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録内容を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。